



創立五十周年 1967-2017

青森総合卸センターニュース



編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2017(平成29)年10月31日



訓練用人形を使って胸骨圧迫体験

9月11日(月)に問屋町会館で第5回問屋町防災訓練が開催された。訓練には組合員従業員37名が参加したほか、青森市危機管理課及び日本赤十字社青森県支部、青森地域広域事務組合消防本部より担当が講師として出席した。はじめに、当事業を企画担当する大平環境対策委員長のあいさつが行われ、その後、参加者は2班に分かれて救命訓練と火災時訓練を交互に実施した。



煙の充満したテントを通過する参加者

救命訓練では、日本赤十字社の田澤氏の指導のもと、心肺蘇生法やAEDの使用手順について、訓練用人形やデモ機を使い、実際に体験しながら学んだ。田澤氏は「心停止状態の傷病者には胸骨圧迫による心肺蘇生を行うことが重要。強く・速く・絶え間ない胸骨圧迫によって、救命率は大幅に向上する。周りの人と交替しながら、救急車が到着するまでやり続けてほしい」と話した。



とんやまち健康づくり実践塾

火災時訓練では煙体験を実施。四方を囲まれたテントを人体に無害な煙で満たし、テント内には障害物に見立てたカーテンと三角コーンが置かれ、煙により視界を遮られた中で、煙の行動を体験。参加者は「煙の中がこんなに動きにくいとは思わなかった。方向感覚が失われ、自分の進みたい方向がわからなくなる。今回、体験することが出来て、非常に参考になった」と感想を語った。その他、水消火器を使った消火訓練も行われ、火災時の対応などを学んだ。



健康づくり奨励表彰式



健やか隊員育成研修

救命処置や火災時の対応を学ぶ 第5回問屋町防災訓練

とんやまち健康づくり実践塾がスタート

組合では健康事業の新たな取り組みとして「とんやまち健康づくり実践塾」を開始し、組合員5社が参加した。同実践塾は、全国健康保険協会(協会けんぽ)青森支部などの支援機関と連携し、健康経営に関心のある組合員企業の健康づくりを支援するもの。会議は2カ月に1回程度開催され、グループミーティング形式で実施。健康づくりに関する最新情報の紹介や自社の現状を把握するため健診データの分析、協会けんぽ保健師からの具体的なアドバイスも行われる。

1回目は9月27日(水)に開催され、協会けんぽから健康経営について説明したほか参加組合員の従業員健康データを分析した「事業所健康診断」について解説。参加者は自社の健康度合いを数値や図で示され、健康づくりに取り組む決意を新たにされた。

その他、9月7日(木)には青森県医師会健やか力推進センター主催の「健やか隊員育成研修」が問屋町会館で開催。当研修の受講が県の健康経営認定制度の必須項目となっていることもあり、市内の企業から47名が参加した。

また、これまでの組合の健康事業への取り組みが評価され、県から健康づくり奨励賞を受贈。9月12日(火)には表彰式が行われ、組合の小田切業務部長が出席し、青山副組合長が表彰状を贈られた。

組合では今後も青森市南部の健康づくりの拠点となるべく、積極的に健康事業に取り組んでいく。

**問屋町会館消防用設備交換
工事の実施が承認**
第4回理事会

第4回理事会が9月25日(月)に開かれ、審議の結果全て原案どおり承認された。

また、事務局からは組合創立50周年記念事業の進捗状況や経済産業省健康経営優良法人認定、献血推進活動にかかると厚生労働大臣表彰の受賞などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり。
案件一 事業委員会からの意見について

問屋町会館消防用設備交換工事や物流センター壁面コーキング工事の実施などが承認された。

若手従業員親睦交流会

問屋町の若手従業員の交流を促すことを目的に、問屋町若手従業員親睦交流会が9月15日(金)にホテル青森で開催された。4回目となった今回は、組合員従業員ら29名が参加した。

交流会では1人ずつ自己紹介を行ったほか、より多くの参加者と交流できるように2回の席替えを行った。また、アトラクションとして「従業員格付けチェック」を実施。これは国産牛、外国産牛、鶏肉の3種類のお肉を目隠しした状態で食べ、正解を当てるゲーム。正解発表は大いに盛



自己紹介する参加者

今年で4回目となる問屋町フルーツバイキングが、9月24日(日)に青森観光りんご園で開催された。青森問屋町経営同友会受託事業である同イベントは、青森市勤労者互

秋の味覚を味わう
問屋町フルーツバイキング



目隠ししてお肉の食べ比べ

助会との共催で80名が参加。家族連れも多く、終始和やかな雰囲気で行われた。主催者を代表して同友会の河田幹事のあいさつの後、青森観光りんご園の川村氏より園内の果物の食べ頃や収穫方法について説明された。

同イベントでは、食べ頃となった園内のりんごや梨、ブルーベリーなどが全て食べ放題。あわせて、ジャスト1kgになるように収穫するゲームも実施され、参加者は収穫した果物の測定結果に一喜一憂。ジャスト1kgを達成した優勝者には高級メロンが贈られ、その他の参加者には収穫した果物が持ち帰り用としてプレ



フルーツバイキング

り上がり、これをきっかけに会話も弾み、参加者は楽しく交流していた。
次回は、年明け2月17日(金)に開催する予定で、参加者により楽しんでもらえるように趣向を凝らした企画を用意する。

青友会の佐々木会長のあいさつの後、同友会の一戸会長による乾杯の音頭で懇親会がスタート。同友会で開催しているダイエットグランプリの体重測定を実施後、両会の会合では恒例となっている1分間スピーチを出席者全員が行うなどしながら、親睦を深め

問屋町内の交流を促進
同友会・青友会合同交流会

青森問屋町経営同友会(同友会)と問屋町支店長・所長連絡会(青友会)の合同交流会が9月26日(火)、ホテル青森で開催された。交流会には両会会員及び事務局職員合わせて40名が参加した。



あいさつする佐々木会長(青友会)

合同交流会は、組合員の若手経営者および後継者で組織される同友会と、問屋町内の支店や営業所等の責任者で組織される青友会との親睦交流を目的に2014年からスタートし今年で4回目の開催となった。回を重ねるごとに交流の輪が広がり、異業種間



歓談する参加者

のつながりが増え、異業種間と共により、組合活動の一層の活性化にも大きく寄与することが期待される。

かねへい食品株式会社
代表取締役社長 齊藤 諭
青森市問屋町二丁目18-11 TEL (017) 738-4341

正確に！迅速に！
【ホットなコミュニケーション】
小電力業務連絡無線は、工事現場、各種イベント会場、そして遊園地や球場などのレジャー施設などで幅広く活用できるコンパクトサイズ。作業中でも両手を使わず操作ができ、高度な機能をフル装備のすぐれもの！
“一般業務用無線、防災行政用無線、その他通信関連機器取扱い”
株式会社 東 晴
代表取締役 雪田 清紀
〒030-0113 青森市第二問屋町三丁目2-6
TEL 017-739-7088 FAX 017-739-3513

問屋町たんしん

業務報告

…主要事項…

- 15日▽第6回問屋町合同清掃
- 14日▽金融審査会
- ▽第4回問屋町若手従業員親睦交流会
- 19日▽第2回労務対策委員会
- ▽(協)山形流通通団地来訪
- 24日▽フルーツバイキング
- 25日▽第4回理事会
- 24日▽第4回理事会(株第2回取締役会)
- ▽青森卸センター(株)第2回取締役会
- 26日▽安協問屋町支部第3回街頭指導
- ▽同友会・青友会第4回合同交流会
- 27日▽第1回とんやまち健康づくり実践塾
- 28日▽仕事整理術②
- 20日▽商業簿記3級取得講座③
- 26日▽仕事整理術①
- 27日▽商業簿記3級取得講座④
- 28日▽仕事整理術②

…問屋町ビジネススクール…

- 11月21日(火) 13時30分～15時 問屋町会館
- 11月17日(金) 19時～21時 アオモリボウル
- 11月17日(金) 11時～12時 1人1,800円
- 9月 4日▽青森県雇用安定創出対策本部
- 5日▽安協問屋町支部第2回街頭指導
- ▽青森大学企業訪問
- ▽県中央会地区別懇談会
- 7日▽商団連第1回事務局長会議(～8日)
- ▽健やか力推進センター健康づくり担当者養成研修
- 8日▽第3回事業委員会
- 12日▽第5回問屋町防災訓練
- 12日▽県あおもり健康づくり
- 15日▽Reモデリング講座
- 6日▽商業簿記3級取得講座①
- 7日▽総務力向上研修(決算書編)
- 12日▽総務力向上研修(目標管理編)
- 13日▽業界で生き残るために(商談ツール編)
- 14日▽Y,S,C,L,U,B②
- 14日▽Y,S,C,L,U,B②(木曜コース)①
- 15日▽Y,S,C,L,U,B②(金曜コース)①
- 20日▽商業簿記3級取得講座③
- 26日▽仕事整理術①
- 27日▽商業簿記3級取得講座④
- 28日▽仕事整理術②

経済雑感

第七十八回

青森県中小企業団体中央会
専務理事 馬場 良夫

前号に引き続き、青森県中小企業団体中央会の馬場専務理事による経済雑感をお送りする。

【地場産業と景気】

足かけ40年にわたって地域中小企業対策に関わってきましたが、この間、国全体では、好景気と後退局面の不況の波が繰り返されてきたのでしたが、地域経済の観点からすると、好景気はほんの一瞬の時期に過ぎなかつたと感じています。地域に根差したいわゆる地場産業においては、常に赤(もしくは赤に近い黄色)の信号が続いていたと



青森県中小企業団体中央会 専務理事 馬場 良夫氏

いう思いです。1980年代、我が国はいわゆるバブル経済に沸いた訳でありますが、本県においては昭和63年の青函トンネル開通と同記念博覧会の開催の前後数年間が、小さ目ではあるものの青森県バブルであったのかと今振り返っています。

ただ、同時にそのツケも大きく、未だ後処理に苦慮している事実があるのも純然たる事実です。私自身、行政の立場にいたからなのかもしれないですが、マイナスの面が目が行ってしまいがちで、これまで我が国全体の景気にかかわらず青森県の地場産業は厳しい経営環境に置かれてきており、今後

も、少子高齢化が進展する中であって、一層厳しい局面に置かれるのではないかと杞憂しています。【県内中小企業の声と新たなミッション】私ども青森県中小企業団体中央会は、県内472の事業協同組合等を会員とし、各地区の会員理事長の皆様からその時々々の生の声を頂戴してきています。

今年も、9月1日の弘前地区を皮切りに、同月29日の八戸地区まで県内10市で地区別懇談会を開催しましたが、現下の喫緊の課題として、地区、業種にかかわらず、人手不足と後継者対策(事業承継)が挙げられました。

有効求人倍率1.26(平成29年8月)は実体経済に大きな影響を及ぼしつつあり、採用が進まない中であって、一方では国が主導する「働き方改革」と最低賃金の引き上げに伴う人件費の増大などへの対応が求められており、地域中小企業の経営、組合組織の運営には、全く新たな視点からの具体性のある戦略の再構築が必要となっていると考えます。

(完)

家庭用ストーブから大規模施設暖房システムまで環境対応型総合暖房機器メーカー

SUNPOT

サンポット株式会社

青森営業所 青森市問屋町2丁目18番18号 〒030-0131
TEL(017)738-4141 FAX(017)738-5354
URL:http://www.sunpot.co.jp/

KOSEKI コセキ株式会社

【事業内容】

- 医療機器・システム・ネットワークの提案・販売・施工・メンテナンス
- 情報・映像システム等企画・提案設計・施工・メンテナンス
- 各種イベント・展示会での映像・音響機材のレンタル

青森営業所:青森市問屋町2丁目20番5号 TEL:(017)738-4506
http://www.koseki.co.jp

旅行や出張にうれしい宿泊パックのお申込みは

共和トラベル株式会社

青森市東造道二丁目3番14号
TEL 017(736)2266
FAX 017(736)5522

青森県知事登録第3-83号 総合旅行業務取扱管理者 成田浩二

不動産登記・調査・測量・境界確定

平尾測量登記事務所

土地家屋調査士 平尾 健吾

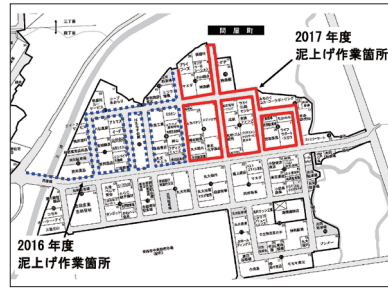
〒030-0919
青森市はまなす1丁目16番6号
TEL 017-718-4577 FAX 017-718-4578

昨年引き続き問屋町の側溝泥上げ実施

組合では8月から9月にかけて、問屋町地区の側溝泥上げ作業を実施した。同工事は昨年度より数カ年計画でスタート。問屋町地区では、以前から汚泥堆積が原因で排水に支障をきたし、大雨の際に道路が冠水することもあった。側溝の泥上げは本来は組合員に実施義務があるものの、蓋の老朽化や汚泥の詰まりにより泥上げをすることが困難なことから、組合が専門業者に委託して行うこととしたもの。

2年目となる今回は、問屋町1丁目東側地区の泥上げを

実施。多いところだと堆積した汚泥の厚さが20cm以上にも及び、総回収量は土嚮袋2,300袋にもなった。組合では来年度以降も問屋町地区の側溝泥上げ作業を継続して行い、組合員が働きやすい環境整備を図る。



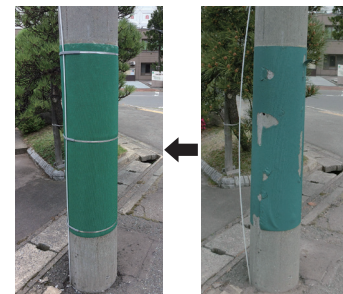
側溝泥上げ作業箇所



堆積した汚泥を重機も使って排出

電柱シートをリニューアル

このたび、東北電力(株)青森支店の協力により、第二問屋町幹線道路の45本の電柱カラーシートを交換した。この緑色の電柱カラーシートは、街並・景観整備と団地内の電柱違反広告物貼付防止



交換後

交換前

策として2006年に設置され、その際も東北電力と連携して実施。問屋町地区と比較して緑の少なかつた第二問屋町地区の緑視率が向上した。今回のリニューアルにより経年劣化で破損していた電柱シートは鮮やかに蘇り、景観向上が図られた。

団地企業訪問

今回の団地企業訪問では、今年の7月に八戸駅前支店から赴任してきた、(株)青森銀行問屋町支店の高橋支店長にお話を伺った。



青森銀行 支店長 高橋 秀成 氏

より良い提案を出ればと日々力を注いでいます。今後とも地方銀行ならではの強みを生かし、

同行の取り組み等について尋ねると「昨年4月にスタートした第15次中期経営計画『あおぎん Leading Plan』では、当行の目指す姿として『県内ナンバー1の信頼と圧倒的な存在感を有し、地域活性化をリードする銀行』を掲げています。基本戦略である地方創生への積極的な取り組みでは、餌に栄養価の高い『アルファルファ』を与えたジャージー牛の生乳を使ったソフト

クリムが人気の、鯉ヶ沢町にある牧場『ABITANIA』ジャージーファームで、チーズやバターなどの製造販売や食事を提供するカフェの併設などを当行で支援しました。新しい事業を実現しようと県や町、観光協会などに働き掛け、ジャージー社を中心とした組織『白山ナチュラルチーズ協議会』を設立し、牧場経営者の夢を現実としました。当行では事業内容や将来性を見極める事業性評価を重視し、様々な企業や組織とを繋いでお客様の可能性を広げる手助けをします。また、創業支援にも力を入れており、資金計画や事業計画だけでなく、場所探しから社内規定作成

地域とともに成長していく銀行を実現します」と力強く語った。問屋町の印象について話があぶらと「企業が集まる団地は建物ばかりのイメージだったが、問屋町は緑が多く景観が整備され、朝の清掃活動などへの組合員の参加人数

(46歳)

編集後記

編集後記の8月号でお知らせしましたが50周年の今年には、環境・健康・安心安全事業などが数々の表彰を受けました。そのお陰で、色々なマスメディアで報じられました。中でも2回、NHKニュースの取材を受けたことは大変うれいことでした。それが春の「合同清掃」と、今回の「第5回問屋町防災訓練」です。春の「合同清掃」は、これまで民放各社は毎年、春の風物詩として取り上げてきましたが、NHKでは16年目ではじめてです。「問屋町防災訓練」も東日本大震災から毎年取り組んできたものです。この「合同清掃」「問屋町防災訓練」が「社会的価値創出事業」として位置づけられます。これらの事業は、単なるルーティンワークとしてでは無く、その事業価値を毎回再評価しながら行っているものです。この「社会的価値創出事業」に「経済的価値創出事業」「文化的価値創出事業」を加えた三つの事業セグメントについて、今回もご紹介いたします。これまでの収益事業・非収益事業というセグメントでは、どうしても収益事業に重きが置かれます。従って組合運営の考えも収益優先主義となりやすくなります。特に、組合員で小さな街を形成する卸地事業協同組合にあつては、その違いは顕著です。株式会社には無い組合の重要な役割が、ハード・ソフト両面にわたる組合員サービスです。この組合員サービスを志向・実現するために、「社会的価値創出事業」「文化的価値創出事業」という新たな枠組みで、事業価値を評価(スクラップ&ビルド)していくということです。この稿続く(藤本)

青森県内の皆様のため



最良の医療機器を提供する

医療機器・病院設備機器・医薬品



株式会社 北斗医理科

本社
〒036-8093 青森県弘前市大字城東中央3丁目3番地3
TEL (0172)28-5161 FAX (0172)28-5162
http://www.hokuto-irika.jp/

青森営業所	〒030-0131	青森県青森市問屋町2丁目13番8号	TEL (017) 764-4121	FAX (017) 728-4131
八戸営業所	〒039-1103	青森県八戸市大字長岳代字上碓田4-16ビュアハイツII-G	TEL (0178) 27-8144	FAX (0178) 51-8254
五所川原出張所	〒037-0053	青森県五所川原市布屋町3番地2	TEL (0173) 38-4151	FAX (0173) 38-4152
むつ出張所	〒035-0071	青森県むつ市小川町1丁目21番地43グリーンハイツ1号	TEL (0175) 31-1231	FAX (0175) 31-1232
住宅型有料老人ホーム 北斗桜ヶ丘	〒036-8241	青森県弘前市大字桜ヶ丘4丁目1番地5	TEL (0172) 87-9471	FAX (0172) 87-9472
居宅介護支援事業所 北斗桜ヶ丘	〒036-8241	青森県弘前市大字桜ヶ丘4丁目1番地5	TEL (0172) 87-9471	FAX (0172) 87-9472
訪問介護事業所 北斗桜ヶ丘	〒036-8093	青森県弘前市大字城東中央3丁目3番地3	TEL (0172) 88-7541	FAX (0172) 88-7542